



緑の園

3月号

ヒルトップハイツ

グリーンプラザ



デイサービスセンター

だより



第69号

令和4年3月1日発行



Scorpions/Lonesome Crow(1972)

## まだまだ緊張感が続きますが…。

全国的にそして北海道におきましても新型コロナウイルス新規感染者数は減少の動きがみられています。

しかしながら北海道におきましては1月27日に発出された「まん延防止法等重点措置」が3月6日まで延長されることになりました。

「第6波」とされている今回の感染は、先月末以降減少しているものの学校、保育所、職場、介護福祉施設などの場では継続しています。

中でも心配なのは80代以上の方の感染者数が微増に転じていること、療養者数及び重症者数そして命を落としてしまう方が増えておられることです。

特に高齢者施設における最近の感染状況は施設に携わる者の一人として、「もしもうちの施設で感染者がでたら…」と思うと本当に怖いです。

最近ではオミクロン株の亜種で感染力の強いBA.2といわれるものまで出現していることもあり再度感染者数が増加に転じる可能性も指摘されています。

感染対策は今までどおりの**手洗い・マスク・換気・密閉空間・密集場所・密接場面のいわゆる三密の回避を徹底**することに何ら変わりはありません。

幸いにして当法人の特別養護老人ホーム丸瀬布ヒル



トップハイツ、養護老人ホーム緑の園および地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザに入所されておられる方々の「3回目」のワクチン接種は先月に無事終了いたしました。

利用者様を守る立場の私たち職員にとりましてまずは一安心といったところではありません。

最近では来る「第7波」に備えてといわれはじめていることもありまだまだ強い緊張状態は続いてしまっていますが、新しい治療薬が近々でるみたいですので期待したいです。

一日の感染者数が数万人という極めて非日常的な状況となっている現状であってもそれが日常の一部に代わってしまったかのようです。

「まん延防止法等重点措置」が延長になっても「何も変わらない」とおっしゃる方もいて、関心の薄れは非日常が続いた結果の社会心理かと思いますが、しかしながら気持ちはそうであっても今は異常な状況であることに変わりはないということは忘れてはいけないと思います。(おわり)





## 3回目の新型コロナワクチン接種が終了しました。

特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツ、養護老人ホーム緑の園及び地域密着型特別養護老人ホームグリーンプラザに入所されておられるご利用者様の3回目の「新型コロナワクチン接種」が先月1日から28日までに丸瀬布厚生クリニックで行われました。

感染防止の切り札とされている予防接種が無事終了したことはまずは職員一同安心といったところではありますが昨今の感染状況は予断を許さない強い緊張状態が継続しております。

現在もなお、面会にご遠慮いただいている状況であることを大変申し訳なく思っておりますが今しばらくご理解と、ご協力をお願いいたします。



今月もどうぞよろしく  
お願いいたします。



暦は弥生3月。(旧暦では晩春となります)

大学入学共通テストが1月に終わり、先月からは各大学の一般選抜試験が一斉に始まりました。

そして、高校の入学試験も近日中に予定されていますので受験生の皆様はもちろんのことご家族の方におかれましても体調にご留意され、今まで一生懸命取り組まれた勉強の成果をいかに発揮されますようお願い申し上げます。

さて、現在養護老人ホーム緑の園に入所されておられる方々の平均年齢は87.5歳ですが、いわゆる「団塊の世代」といわれる方々もまだ少数ですが入所されておりまして、その方々のなかには「高校入試」を経験されている方もおります。

少し前ですと入所されてる方々のお生まれは大正か



ら昭和初期(一桁)の方々が中心でしたので尋常小学校卒業とか高等小学校の世代の方々です。

ところが、「団塊の世代」の方々は当然ながら戦後生まれでその青春時代は昭和30年代後半から昭和40年代前半の方々です。

そのころの日本の状況はまず、学生運動が盛んで高度経済成長期にあって日本全国津々浦々バリバリに元気があった時期です。

で、その活気のある「団塊の世代」は「ミニスカート」や「ジーンズ」といった日本で初めて若者文化を生みだしました。

ちなみにビートルズがデビューした年は1960年(昭和35年)、ボブディランが1959年です。

ビートルズが来日した年は1966年(昭和41年)で「団塊の世代」の方々が青春真っ只中です。

「アンアン(70年)」は昭和45年、「ノンノ(71年)」が昭和46年の創刊です。

「学生運動」も含めて、ある意味革新的で活動的な「団塊の世代」の方々が利用者の中心となって来た時に「今日は歌のレクリエーションです、皆さん一緒に歌いましょう!はいっ!、どんぐりコロコロどおんぐりいこお!」っていったところで「ばかにすんじゃあねえ、ジミヘンかけろコラ」と叱られるかもしれません。(ジミヘン=ジミ・ヘンドリックスってギタリストです。)

時代は変わっているので介護の仕方だって常々変化しています。

同じことをずーっと繰り返しているということは退化しているともいえます。

ジミヘン好きな利用者さんにあったことはまだありませんがその時が楽しみです。(おばら)